

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

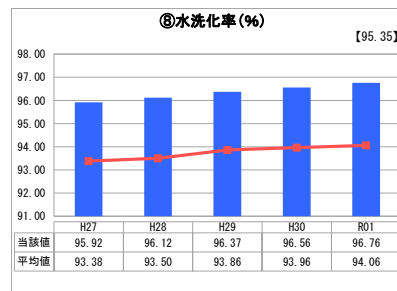
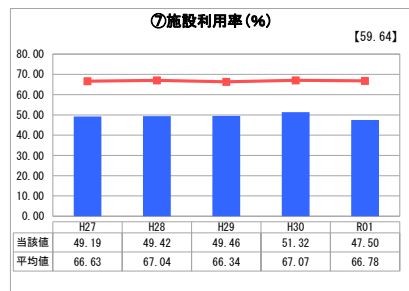
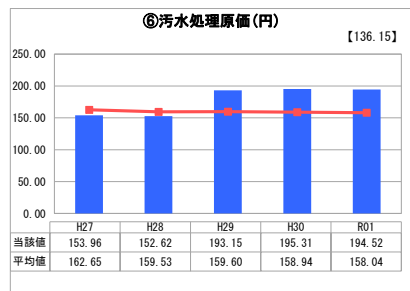
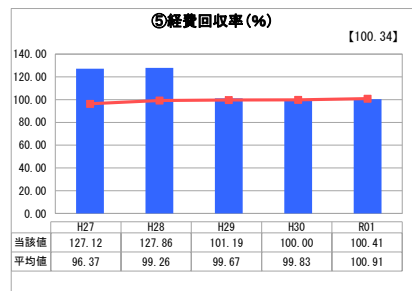
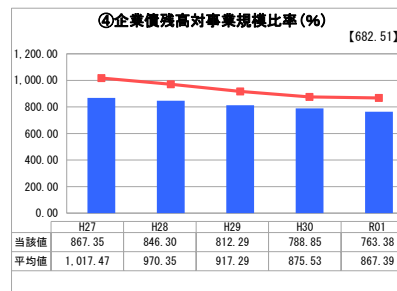
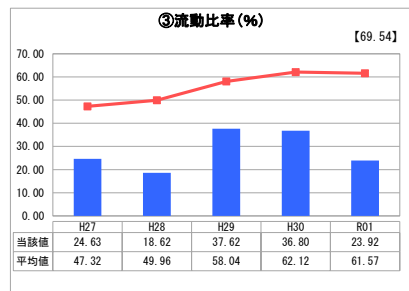
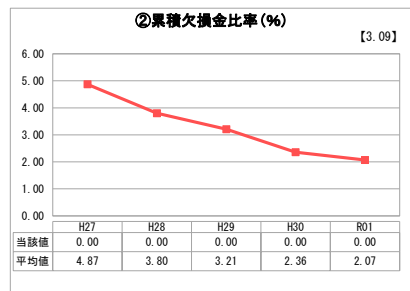
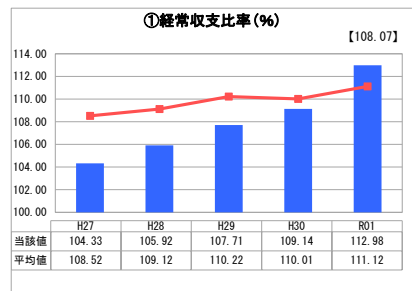
富山県 高岡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ad	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	42.17	74.64	58.46	3,476

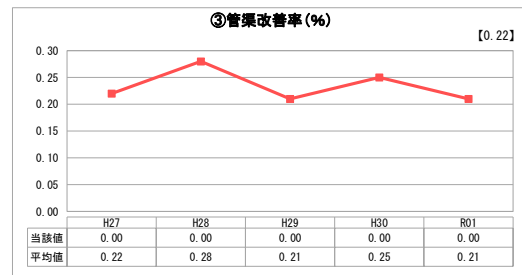
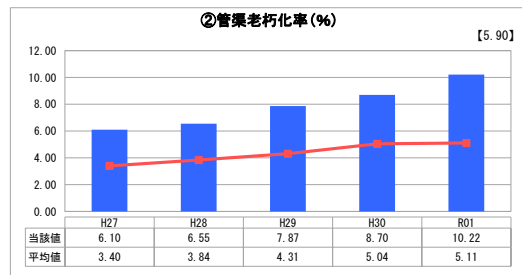
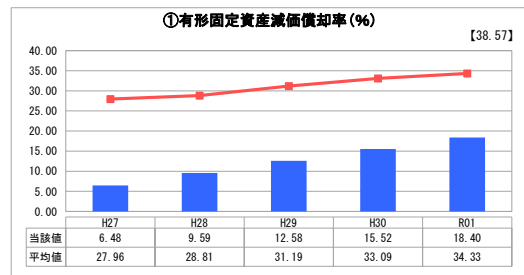
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
170,493	209.57	813.54
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
126,533	32.31	3,916.22

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ・①経常収支比率は黒字を示す100%を上回り、②累積欠損金も発生しておらず健全な経営状況にあるといえる。今後も業務効率化を図る中、健全経営に努めていきたい。
- ・③流動比率は依然として企業債の償還額が大きいため全国平均や類似団体平均よりも低い水準にある。
- ・④企業債残高対事業規模比率は企業債の発行額を企業債償還額以下に抑制しているため、企業債残高は、今後も減少傾向で推移していく。
- ・⑦施設利用率は、処理水量が人口減少により減少傾向にある。今後の需要を見極める中、施設規模の見直しを図る必要がある。
- ・⑧水洗化率は全国・類似団体平均を上回っており、今後も引き続き、下水道未接続世帯への啓発を図り、普及促進に努めていきたい。

### 2. 老朽化の状況について

- ・①有形固定資産減価償却率や②管渠老朽化率は、管渠や処理場の老朽化が進行していることにより年々上昇している。陶管の長寿命化を進めるところではあるが、限られた予算の中で事業を展開している。
- ・③管渠改善率については、ストックマネジメント改築計画を策定する中で、優先すべき管渠を洗い出し令和2年度から計画的に取り組んでいく。

## 全体総括

- ・効率的な事業運営に努めた結果、経常収支比率、経費回収率は100%を超え、概ね健全な経営状況にあると言える。しかし、企業債の元利償還金の負担が大きいため流動比率が低く、今後さらなる経営改善が必要である。また、人口減少に伴う使用料収入の減少、施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、経営環境は今後ますます厳しくなると予想される。
- ・今後も効率的な事業運営に努める中、更新投資に関してはストックマネジメント計画を活用し効果的に更新していくほか、施設の統廃合など広域化の検討を行うなど、持続可能な下水道施設の構築、中長期視点に立った健全経営に取り組む必要がある。
- ・令和3年度に本市の経営戦略である「高岡市下水道ビジョン」を前期事業目標の達成度など進捗状況を確認するなか、令和4年度から始める後期に向けて計画の見直しを行う。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。